

平成21年度第2回（通算第40回）ソフィア発見講座

日 時 平成21年11月25日（水）18:00～19:30

会 場 磐周教育研究所 大会議室

講 話 18:00～19:00

演 題 「保健室から見た生徒指導」

袋井市教育委員会生涯学習課 社会教育指導員
(元周南中学校養護教諭)

青木いな美 先生

本年度、第2回ソフィア発見講座は、磐周の学校保健教育に御尽力いただいた、青木いな美先生を講師にお招きしました。先生は、磐周の小中学校の養護教諭として御活躍され、平成12年度に静岡県磐周地区学校保健功労表彰、続いて、平成13年度に静岡県学校保健功労賞を受賞されました。さらに、平成18年度には文部科学省から教員表彰を受賞されました。

学校における保健委員会の活動の指導や食育教育はじめ、不登校児童生徒や問題行動などの生徒指導について、学校全職員との協同体勢の基、学校・家庭・地域や関係機関と連携して、問題解決に当たられ、多くの方々から信頼されました。また、磐周地区の学校保健会、学校保健部長として、専門的な知識と技能で多くの養護教諭を指導されました。

前回より30分早い開会のため、参加者も勤めを終えての参加でたいへんだったようですが、69名の参加者を得て盛大に開催することができました。

進行 伊藤章則教頭（竜洋北小）

1 磐周教育研究会長挨拶並びに講師紹介

榊原 茂 校長（飯田小）



2 講話

はじめに

(1) 体験した事例

ア 3年間保健室登校

ポストの思い出・・・子供の心を開くには
言葉のでない生徒・・・ミスチルの音楽から
担任の役割は・・・

がんばっている子どもに「がんばってね」は禁句

イ 義父からの性的虐待

子どもはいろいろところで大人にサインを送っている
「私のお父さん変わっているに・・・」「家に帰りたくない」・・・
向かい合って話せない子ども、横に座って相づち・・・





- ウ 生徒同士の恋愛・妊娠
 - 三種の神器・・・ドライヤー、毛染め、妊娠判定薬
 - 妊娠する生徒・・・家庭が寂しい
 - 性にのめり込む生徒の対応の難しさ
 - 養教だけでは対応が困難
- エ 反社会的な生徒たち
 - どんな子どもでも受け入れる保健室・・・他の教師との連携
 - 保健室登校の子どもとトラブルない
 - 言葉遣いの変化と心の変化・態度の変化
 - 「人は愛されて、褒められ、人の役に立ってポジティブになる」
- オ 3階からの転落事故
 - 3階から2階のベランダへ落下、腹部を強打・・・
 - 全職員の事故へのとらえ方・・・レポートのまとめさせる
- カ 様々な父親・母親
 - 話をするだけで50%解決。話を聞くだけでもよい
 - がんばっている親に「がんばって」だけでは禁句
 - 教え子の子育て。今の若者は教育熱心
- (3) 保健室を生徒指導のキーステーションに
 - モンスターペアレントへの対応・・・複数で
 - 保健室は学校の縮図
 - 学校保険法の一部改正
 - 養教にとって法的に認められた大きな出来事
 - 朝の健康観察も法的に義務づけられた
- (4) 終わりに
 - 養教の捉えた情報を学校経営に生かす
 - 小中9年間を見通した教育の必要性
 - 一人で悩まない



3 御礼の言葉

磐周教育研究所活動推進委員会
委員長 永井廣幸 校長 (周南中)

忙しい教職生活の中であればこそ、時に、足を止めて、ふと、自分の人生や生活を振り返って
みること、さらに、自分とは異なる趣味の世界に勤んでいる人の話に耳を傾けてみる
ことが、いかに大切なことであるか、講座を終えて家路に急ぐ先生方の姿を拝見して
強く感じます。また、ソフィア発見講座で講師を勤められた先生方もまた「講師の
機会を得て、自分の人生を振り返ることができた」と異口同音に述べられています。

平成 21 年度のソフィア発見講座は、たいへん大勢の参加者を得て、盛大に開催
することができました。皆様の御協力に感謝申し上げます。